

市川市立福栄中学校 令和7年度 学習の指針

教科	数学科	学年	3年
----	-----	----	----

1. 学習の目標

- (1) 数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y=ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・式の展開と因数分解 ・平方根 ・二次方程式 	<ul style="list-style-type: none"> ・式の展開や因数分解、数の平方根、二次方程式の必要性和意味を考える ・多項式、数の平方根、二次方程式について学んだことを生活や学習にいかす ・文字を用いた式、数の平方根、二次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善する
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・関数 ・図形と相似 ・円の性質 	<ul style="list-style-type: none"> ・関数、相似な図形の性質、円周角と中心角の必要性和意味を考える ・関数、相似の図形、円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習にいかす ・関数、相似な図形の性質、円周角と中心角の関係を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善する
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理 ・標本調査とデータの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理、標本調査の必要性和意味を考える ・三平方の定理、標本調査について学んだことを生活や学習にいかす ・三平方の定理、標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善する

3. 評価

(1) 内容および方法

	評価の内容	評価の方法
①知識・技能	各単元の基礎的な知識や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けているかを評価します。	授業の様子、定期試験、単元小テストなどで評価します。
②思考・判断・表現	数量の関係や図形の性質などを論理的に考察し表現する力、データの分布に着目し、その傾向を考察して判断したり、事象の起こりやすさについて考察したりする力が身に付けているかを評価します。	授業の様子、定期試験、単元小テスト、振り返りシートなどで評価します。
③主体的に学習に取り組む態度	授業に意欲的に取り組み、一生懸命努力しているかを評価します。	小テストの一部、振り返りシート、提出物、授業内の発言内容や授業態度などで評価します。

(2) 観点と評価の関係

			評価
A	A	A	5
A	A	B	4
A	B	B	3
A	A	C	
A	B	C	
B	B	B	
B	B	C	
A	C	C	2
B	C	C	
C	C	C	1

<評価の注意事項>

評価は左のように統一することになります。気を付けなければならないのは、テストで100点を取れた(「知識・技能」「思考・判断・表現」が”A”)としても、「主体的に取り組む態度」でAが取れなければ「5」は取れないということです。またその逆も同じで、テストで点数が悪かったが、レポートや授業の発言内容次第では、評価を上げることもできるということです。

昨年度までと変わりありませんが、試験結果だけでなく普段の授業も重要になるということを十分理解してください。

4. 教科に関するアドバイス

数学は、学習の積み重ねがとても大切な教科です。授業に意欲的に参加し、諦めずに粘り強く取り組みましょう。また、日々の復習も大切です。定期試験や単元テスト前に集中して復習するのではなく、その日に授業で習ったことを振り返り、何を学んだのか、何がわからなかったのかを明確にし、ワークを活用しながら家庭学習をしましょう。